

アオチドリ *Coeloglossum viride* (L.)Hartm. var. *bracteatum* (Willd.)Richter

ラン科

佐渡郡相川町ドンデン山

(写真 54)

佐渡島では、相川町金北山二ノ岳、海府側、間峰道に分布の記録を報告している(池上・石沢, 2000) が、ドンデン山の産地を追加する。

ヒメフタバラン *Listera japonica* Blume

ラン科

両津市梅津アオネバ310m, 350m; 梅津大山・長江

(写真 55)

佐渡では稀に分布し、これまでに記録されている(新潟県 2000)。なお、新潟県植物分布図集(第15集:122頁)に掲載のミヤマフタバランの写真は本種の誤りであり、その産地が相川町小野見であることから、本種は佐渡で大佐渡だけに確認されている。

オオバノトンボソウ *Platanthera minor* Reichb. f.

佐渡郡畑野町国見山; 金井町中興

(写真 56・57)

佐渡における分布を追加する。どちらも赤土の松林の下に生える。

文 献

浜 栄助(2002) 増補 原色 日本のスミレ 158、163頁 誠文堂新光社

本間建一郎(2002) 佐渡島の植物(ユウシュンランの分布の記録)

いがりまさし(1996) 山溪ハンデイ図鑑6 日本のスミレ

池上義信・石沢 進(1985) 新潟県植物分布資料(5) 新潟県植物分布図集 第6集:407.

池上義信・石沢 進(2000) 新潟県植物分布資料(19) 新潟県植物分布図集 第20集:97. アオチドリの佐渡の分布追加

新潟県(2000) 新潟県RDB

笹川通博(1996) 佐渡植物分布資料(5) ネジリカワツルモの生育 新潟県植物分布図集 第17集:131-132.

坪谷富男(1994) 新潟県植物分布図集 第15集:103-104. ミヤマフタバランの分布の記録

新潟県における暖温帯常緑樹の短報 (1)

アカガシ・ソヨゴの分布

朱 雁

1. アカガシの分布追加 ブナ科 コナラ属 *Quercus acuta* Thunb. ex Murray

新潟県内におけるアカガシの分布は主として平野部に接する山地に分布している。ここでは海岸から最も内陸の阿賀野川沿いの分布を追加する。



アカガシ 東蒲原郡三川村川口 Photo 2583-18



アカガシ 東蒲原郡三川村川口 Photo 2523-4

① アカガシ群落 (範囲5×5m)

新潟県東蒲原郡三川村川口 (阿賀野川沿い) [2002年4月23日調査]

生育地は阿賀野川沿い水流から高さにして5mほど離れた急斜面に位置し、高木層には大木のアカガシの他、コナラやホオノキなどがあり、亜高木層が発達していない。低木層にハイヌガヤ、ヒサカキなどが僅かに生育しており、草本層にはヒメカンスゲ、ヤブコウジ、キツタ、キバナイカリソウなどが少数生育している。群落の構造は次の通りである。

高木層：8m～ (80%)

①アカガシ (直径23.6cm)

②アカガシ (直径19.7cm)

フジ (直径14cm、2本のアカガシに絡まっている)、ホオノキ (直径35cm)、テイカカズラ

コナラ (4本あり、その内、直径50cmのコナラが1本)

低木層：1～3m (10%)

ハイヌガヤ+・1、ヒサカキ+・1、サルトリイバラ+・1、ツノハシバミ+・1、コマユミ (2m) +・1、ミツバアケビ+・1、チマキザサ +・1

草本層：1m以下 (10%)

ヒメカンスゲ+・1、ヤブコウジ1・2、キツタ+・1、ケイタドリ+・1、キバナイカリソウ+・1、フジ+・1、サルトリイバラ+・1、ツタウルシ+・1、ヤマイトチシダ+・1

② アカガシ群落 (範囲5×5m)

新潟県東蒲原郡三川村川口 (阿賀野川沿い)

生育地は阿賀野川沿いで①同様に水流より5mほどの高さの急斜面に位置する。高木層はアカガシやコナラ、テイカカズラなどで構成し、亜高木層にはアオハダとソヨゴがある。低木層にはユキツバキ、ソヨゴ、ユキグニミツバツツジなどが生育しており、草本層はホソバカンスゲなどがある。群落の構造は次の通りである。

高木層：8m～ (70%)

アカガシ (二股、直径：30cm)、フジ (直径10cm)、コナラ、テイカカズラ

亜高木層：3m～ (20%)

アオハダ、ソヨゴ

低木層：1～3m (5%)

ユキグニミツバツツジ、ミツバアケビ、エゴノキ、ソヨゴ、アオダモ、ユキツバキ

草本層：1m以下 (5%)

ホソバカンスゲ、ヤマユリ、フジ、サルトリイバラ、ケイタドリ、ノコンギク、アキノキリンソウ

③ アカガシ群落 (範囲5×5m)

新潟県東蒲原郡三川村川口 (阿賀野川沿い)

生育地は阿賀野川沿いであるが、①②よりも下流 (水流に近い) の急斜面に位置する。高木層はほとんどアカガシで構成しており、亜高木層にはアカシデとヤマモミジがある。低木層にはユキツバキが多く生育し、チャボガヤ、ヒメアオキ、ウゴツクバネウツギなどもあり、草本層は貧弱で、ヒメカンスゲなどが生えている。群落の構造は次の通りである。

高木層：8m～ (70%)

アカガシ (株立ち、直径45cm、と直径20cm) 1・2、フジ+・1、コナラ+・1 (1本あり)

亜高木層：3m～ (5%)

アカシデ+・1、ヤマモミジ+・1

低木層：1～3m (20%)

ユキツバキ1・2、チャボガヤ+・1、ウゴツクバネウツギ+・1、ミヤマガマズミ+・1、ガマズミ+・1、コマユミ+・1、ヤマモミジ+・1、ヒメアオキ+・1、マルバマンサク+・1、チマキザサ+・1、ユキグニミツバツツジ+・1

草本層：1m以下 (5%)

ヤマユリ+・1、タマバシロヨメナ+・1、キバナイカリソウ+・1、ヒメカンスゲ+・1

④ アカガシ群落 (範囲5×5m)

調査地は阿賀野川沿い道路側の山の斜面にあり、下記の植物についてはアカガシが崖の所に生育するため、崖下からア

カガシの周辺に生育する植物を記録した。

高木層：アカガシ（直径15cm～）

低木層：ムラサキシキブ、ミヤマガマズミ、エゴノキ、ハイイヌツゲ、ウワミズザクラ、オオカメノキ、コハウチワカエデ、アカシデ、オオバクロモジ、ホオノキ、アオダモ、アワブキ

草本層：キバナイカリソウ、マムシグサ、ジュウモンジシダ、マユミ、カスミザクラ、クマヤナギ、マルバマンサク、アカイタヤ、アオバスケ、ナガハシスミレ、モミジイチゴ、ゼンマイ、ミゾシダ、ミヤマガマズミ、ヒメアオキ、サルトリイバラ、シシガシラ、オヤマボクチ、アズキナシ

近隣にはフユイチゴ、ナニワズ、ユキツバキ、ソヨゴ、ヒサカキ（高さ80cm）、オサシダ、ホソバカンスケ、ユキグニカナンアオイの常緑植物やハウチワカエデ、コシノホンモンジスゲ、ヒメコウゾ、カキドオシ、ミヤマイボタ、ツルニンジン、バйкаウツギ、ユキグニミツバツツジ、ナガハシスミレなどの植物が生育している。

阿賀野川沿い生育するアカガシ4ヶ所の群落：主な構成種の一覧表

群落	高木層	亜高木層	常緑低木	常緑草本層
①	アカガシ（直径23.6cm）		ハイイヌガヤ	ヒメカンスゲ
	アカガシ（直径19.7cm）		ヒサカキ	ヤブコウジ
	ホオノキ（直径35cm）			キツタ
	コナラ（4本、直径50cmの1本）			
②	アカガシ（二岐、直径30cm）	アオハダ	ソヨゴ	ホソバカンスゲ
	コナラ	ソヨゴ	ユキツバキ	
③	アカガシ	アカシデ	ユキツバキ	ヒメカンスゲ
	（直径45cm、と20cmあり）	ヤマモミジ	チャボガヤ	
	コナラ		ヒメアオキ	
④	アカガシ（直径15cm～）		ハイイヌツゲ	アオバスケ
			ヒメアオキ	シシガシラ

阿賀野川沿い4ヶ所の調査から、調査地④を除く、他の3ヶ所は同じ川沿いの急斜面でありながら、アカガシの生育地の下層植生に構成上多少の相違が見られる。具体的には、生育地③の場合では、水流に近くあり、高木層が直径の大きいアカガシ（45cm）で占められている。亜高木層にアカシデがあり、低木層にはチャボガヤの他、ユキツバキが多く生育している。生育地①については、水流より少し離れて上部にあり、高木層アカガシ（直径24cm）の他、コナラやホオノキで構成され、低木層にはハイイヌガヤ、ヒサカキあるが、ユキツバキは生育していない。生育地②が①と③の中間にあり、高木層がアカガシとコナラで構成され、亜高木層には常緑樹のソヨゴとアオハダがあり、低木層にはユキツバキ、ソヨゴが少数ながら生育している。調査地の常緑草本層の植物については水辺と離れるほど生育の種類が多い傾向がある。

2. ソヨゴの内陸地における群落 モチノキ科 モチノキ属 *Ilex pedunculosa* Miq.

新潟県内における本種の分布は中・北部で主に低地に生育している（花井 1981）。

ソヨゴは阿賀野川沿い内陸まで分布し、最奥の生育地は上川村茗荷袴腰山海抜220mである（池上・石沢 1990）。次の生育地は阿賀野川沿いでの密生地である。

○ ソヨゴ群落（範囲15×15m）[2002年7月21日]

新潟県東蒲原郡三川村吉津

この生育地は阿賀野川の段丘の縁にあり、高木層はコナラとアカマツからなり、亜高木層は主にアオハダが生育している。低木層にはソヨゴが優占し、ハイイヌツゲ、エゾズリハの他、オクチョウジザクラやユキグニミツバツツジなどが生育し、草本層にはソヨゴの実生、オオイワカガミなどがあり、ユキツバキ、ヤブコウシ、エゾズリハ、ハイイヌツゲ、ツルアリドオシ、ホソバカンスゲ、ミヤマウズラ、シシガシラ、シュンランなど常緑性の植物やオオバスノキ、ミヤママコナ、チゴユリ、コマユミ、タカノツメ、リョウブ、ヤマツツジなどが生育し、キタゴヨウの実生が見られる。

周辺には高木のキタゴヨウ・アオハダ（多数あり、太いの直径が18cm～）・ミズナラの他、ノキシノブ（ミズナラ着生）、コハウチワカエデ、ホナガクマヤナギ（花）、ホオノキ、ウゴツクバネウツギ、ススキ、クリ、ハナヒリノキ、ヤマ

ユリ、ホツツジ、アクシバ、マルバマンサク、ハウチワカエデ、スギ（草本層）、ウラジロヨウラク、タムシバ、ヒサカキ（高さ1m）、クズなどが生育している。群落の階層や構成種は次の通りである。

高木層：8m～（40％）

コナラ1・2（直径25cm～）、アカマツ1・2（直径30cm～）

亜高木層：3m～（20％）

アオハダ2・3（直径17cm）、アオダモ+・1

低木層：1～3m（50％）

ソヨゴ2・3、コナラ+・1、ハイイヌツゲ+・1、オクチョウジザクラ+・1、イヌエンジュ+・1、ウワミズザクラ+・1、アズキナシ+・1、マルバアオダモ+・1、エゾユズリハ+・1、ウラジロイタヤ+・1、ナナカマド+・1、リョウブ+・1、ミヤマガズミ+・1、オオバスノキ+・1、ユキグニミツバツツジ+・1、コマユミ+・1、ヤマツツジ+・1、ナツハゼ+・1、オオカメノキ+・1

草本層：1m以下（％）

オオイワカガミ2・3、オオバスノキ1・2、ミヤママコナ1・2、チゴユリ1・2、ヤブコウジ1・2、シシガシラ1・2、ウワミズザクラ+・1、オクチョウジザクラ+・1、ワラビ+・1、マルバアオダモ+・1、エゾユズリハ+・1、ナナカマド+・1、ユキツバキ+・1、ハイイヌツゲ+・1、ソヨゴ+・1、ウラジロイタヤ+・1、ヤマモミジ+・1、ユキグニミツバツツジ+・1、ツルアリドオシ+・1、ホソバカンスゲ+・1、アズキナシ+・1、ツクバネ+・1、ヤマウルシ+・1、コシアブラ+・1、コマユミ+・1、タカノツメ+・1、リョウブ+・1、ゼンマイ+・1、ヤマツツジ+・1、ミヤマウズラ+・1、シュンラン+・1、キタゴヨウス+・1、ナツハゼ+・1、オオカメノキ+・1、近くにヒサカキの実生がある。



ソヨゴ 東蒲原郡三川村吉津 Photo 2726-21



ソヨゴ 東蒲原郡三川村吉津 Photo 2726-18

文献

- 浅見 賢(1980) アカガシ 新潟県植物分布図集 第1集:25～27.
花井 清晴(1981) ソヨゴ 新潟県植物分布図集 第2集:233～236.
池上 義信・石沢 進(1990) ソヨゴ 新潟県植物分布図集 第11集:85.